

平成18年9月分電力需給状況

需要の概要

平成18年9月の販売電力量は、24億9千2百万kWh時、前年比103.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、8月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年比106.8%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、9月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少などから、前年比96.8%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、鉄鋼、機械などが前年を上回ったことから、前年比106.3%となった。

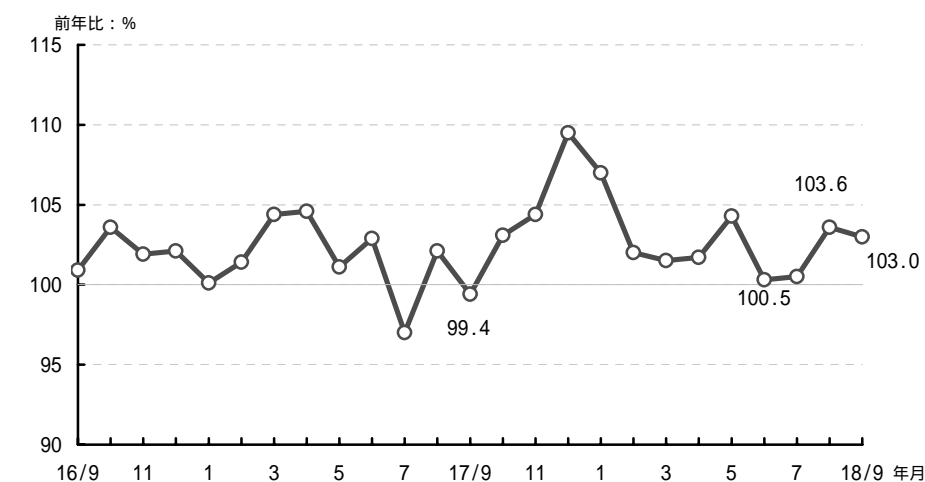
電灯等の低圧需要の検針期間は、前月(8月)の検針日～当月(9月)の検針日の前日までの1ヵ月間である。
 業務用・大口等の高圧・特高需要の検針期間は、当月(9月)の1日～月末までの1ヵ月間である。

需要実績

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	854	106.8
	電 力	213	100.7
	計	1,067	105.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	546	96.8
	産業用電力	879	104.1
	うち大口電力	(667)	(106.3)
	計	1,425	101.2
販売電力量 計		2,492	103.0
融 通		588	90.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		18/9月	18/8月	18/7月
紙・パルプ	118	111.5	113.0	108.9
化 学	140	106.0	108.5	104.6
鉄 鋼	60	108.1	78.5	92.6
機 械	148	102.9	108.9	106.9
そ の 他	201	105.8	108.2	107.7
合 計	667	106.3	105.7	105.4

(参考2) 4県都平均気温

	18/8月				18/9月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	29.3	29.4	28.0	28.9	25.9	24.0	22.6	24.2
平年差	1.6	2.0	1.0	1.6	0.3	0.1	0.7	0.4
前年差	0.6	0.7	1.6	1.0	0.9	2.3	1.5	1.5

供給の概要

- 原子力は、前年の定検の反動により、前年比130.6%となった。
- 水力は、豊水の影響により、前年比123.3%となった。
- 火力は、原子力、水力の増加などにより、前年比67.8%となった。

供給実績

		電力量	前年比	備 考
原子力	(46)	1,466	130.6	出水率 132.6% (17年9月出水率 104.3%)
水 力	(15)	491	123.3	
火 力	(39)	1,226	67.8	
発受電計	(100)	3,183	95.6	
その他		45		
供 給 計		3,138	96.2	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(102.1) 547	(104.1) 426	(102.9) 865	(103.1) 654

注：()内は前年比